



2021年9月14日
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社 JR 東日本商事

「2022 JR 東日本社員撮影カレンダー」を 31 種類販売します！ ～“社員ならではの”、“現場ならではの”の光景をカレンダーでお楽しみください！～

- 東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長:深澤 祐二、以下「JR東日本」と)と株式会社JR東日本商事(代表取締役社長:井上 晋一、以下「JR東日本商事」と)は、JR東日本社員が撮影した写真を使用したカレンダーの販売を行います。
- JR東日本の28の職場の社員が撮りためた、車両センターの風景や珍しいアングルから撮影した車体など、普段目にすることができない光景をカレンダーにしました。
- JR東日本の個性ある車両や風景をお楽しみください。

1. カレンダーコンセプトについて

JR東日本の乗務員区や車両センターに所属する社員が、日頃接する光景を撮りためたものをカレンダーにまとめました。あまりお出かけできないこのご時世だからこそ、普段接することのできない光景を、カレンダーでお楽しみください！

2. 販売について

2021年9月14日(火)より予約販売開始、10月以降順次発送予定です。
商品の詳細は「JRE MALL」内のショップ「TRAINIART(トレニアート) JRE MALL店」ウェブページ(<https://www.jreastmall.com/shop/c/c01/>)をご参照ください。
JRE MALLのほか、一部店舗でも販売いたします。



3. 販売するカレンダーについて

商品名	2022 JR東日本社員撮影カレンダー		
サイズ	壁掛けサイズ	卓上サイズ	はがきサイズ
大きさ	縦 45×横 31cm	縦16×横22cm	縦15.5×横11.5cm
販売価格	1,980円(税込)	1,320円(税込)	1,100円(税込) 25種セット 25,000円(税込)
種類	3種類	3種類	25種類
販売箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・TRAINIART JRE MALL店 ・TRAINIART TOKYO店 ・ミュージアムショップTRAINIART 鉄道博物館店 ・TRAINIART アトレ吉祥寺店 ・JR横浜えきまつり鉄道イベント TRAINIART物販コーナー 		TRAINIART JRE MALL店限定販売
販売開始日	<ul style="list-style-type: none"> ・TRAINIART JRE MALL店 :9月14日14時から (お届けは10月1日以降を予定しております) ・JR横浜えきまつり鉄道イベント TRAINIART物販コーナー :10月2日～3日 (2日間のみを予定しております) ・TRAINIART TOKYO店・鉄道博物館店・吉祥寺店 :10月4日 		<ul style="list-style-type: none"> ・TRAINIART JRE MALL店 :9月14日～10月17日 (お届けは12月中旬から下旬 を予定しております)

※販売数量には限りがあります。売り切れの場合はご容赦ください。

※販売開始日や販売商品の内容は予告なく変更となる場合があります。

※使用する画像は変更する場合がございます。

※はがきサイズのカレンダーで使用する一部の画像は、壁掛けサイズおよび卓上サイズのカレンダーで使用する画像と重複する画像もございますので、予めご了承ください。

※ミュージアムショップTRAINIART 鉄道博物館店の入場には、鉄道博物館の入場チケットが必要となります。

カレンダーの紹介



●壁掛けサイズ カレンダー(3種類) 販売価格1,980円(税込)

参加区所	カレンダー写真例	担当者のメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> ・大宮総合車両センター ・尾久車両センター ・国府津車両センター 		2015年3月に開通した上野東京ライン沿線に位置する車両センターの日常の風景を収録しました。車両の清掃シーンやバリエーション豊かな車両の並びなど、一年を通じて車両センターの魅力を感じられる作品です。185系が勢揃いする写真は圧巻です！
<ul style="list-style-type: none"> ・豊田車両センター ・東所沢電車区 ・三鷹車両センター 		首都圏を東西に結ぶ中央線快速電車と中央総武緩行線。E233系やE231系をはじめとした現在の主力車両から過去に活躍した201系、115系、189系といった懐かしい車両も登場します。中央線と総武線を普段ご利用される方に限らず、お楽しみいただける作品に仕上がっています。
<ul style="list-style-type: none"> ・仙台新幹線運輸区 ・東京新幹線車両センター 		東北・上越・北陸・秋田・山形と5方面へ伸びるJR東日本の新幹線の普段ではなかなかみられない車両センター内での姿や迫力ある走行シーンを集めました。E5系とE6系が併結して走行するシーンや2021年にラストランとなるE4系の姿も掲載されています。

●卓上サイズ カレンダー(3種類) 販売価格1,320円(税込)

参加区所	カレンダー写真例	担当者のメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> ・相模原運輸区 ・東京総合車両センター 		JR東日本の新系列車両のメンテナンスを行っている東京総合車両センターでの検査の様子や、検査を終えた車両が横浜線で実際に活躍する様子を集めました。横浜線の電車と四季折々の風景を存分にお楽しみください。
<ul style="list-style-type: none"> ・籠原運輸区 ・高崎運輸区 ・高崎車両センター ・高崎車両センター高崎支所 		いつもの211系普通電車が車両センター内で検査を受ける様子や蒸気機関車の躍動感ある走行シーンを中心に構成しました。田園地帯や山間など、群馬県の魅力をきっと感じていただけるはずです！
<ul style="list-style-type: none"> ・勝田車両センター ・長野総合運輸区 ・新潟運輸区 ・東京総合指令室 ・本社運輸車両部(車両運用計画グループ) ・横手運輸区 		JR東日本が誇るTRAIN SUITE 四季島から引退が近い貨車まで、鉄道ファンにはたまらない画像を集めました。登場から数十年、当たり前のように活躍している車両も、たまに見かける変わった車両も老朽化などにより、いずれは見られなくなります。その時にしか見られなかった光景をお楽しみ下さい。

●はがきサイズ カレンダー(25種類)※JRE MALL限定販売 販売価格1,100円(税込)

参加区所	カレンダー写真例	担当者のメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> ・本社運輸車両部(車両運用計画グループ) 		車両の取替えや転属など、車両運用計画グループが方針を策定しています。老朽化などで離脱した車両や新たに投入した車両、通常と異なる編成や運用、通常見られない車両の並びなど、特徴的な運用シーンをカレンダーにまとめました。
<ul style="list-style-type: none"> ・仙台新幹線運輸区 		このカレンダーは仙台新幹線運輸区の乗務員が撮影したものです。2022年はJR東日本の各新幹線の周年記念となる新幹線YEARです。また皆さまが安心して新幹線をご利用いただけるよう、乗務員一同努めております。ご利用お待ちしております。

<p>・東京新幹線車両センター</p>		<p>東京新幹線車両センターは、東北・上越・北陸・秋田・山形と5方面へ伸びるJR東日本の新幹線を支える扇の要の位置に所在し、日々の確実な車両検査で新幹線の安全を守っています。私たちの職場をもっと知って頂きたいという思いから、カレンダー作成に取り組みました。</p>
<p>・東京総合指令室</p>		<p>駅の乗り換え途中や踏切待ちの時に、変わった列車を見たことはありませんか？時刻表には載らない車両の画像を盛り込んだ、鉄道ファンにはたまらない列車のカレンダーです。JR東日本を代表するTRAIN SUITE 四季島、レール運搬車やイベント列車の回送などをお楽しみください。</p>
<p>・東京総合車両センター</p>		<p>このカレンダーは、鉄道車両のメンテナンスの仕事を皆さまに知って頂くとともに興味を持って頂きたく、作業風景の写真を載せたカレンダーを作成しました。普段なかなか見られない車両基地の日常をぜひともお楽しみください。</p>
<p>・我孫子運輸区</p>		<p>幼い頃からの夢を叶え車掌になり、我孫子～成田間開業120周年に立ち会えました。エメラルドグリーン色の電車は四季折々の季節や風情の中を休むことなく今日も走っています。今ある資源や財産を大切に次の未来も鉄道が存続できるよう手を取り合っていきましょう！</p>
<p>・尾久車両センター ・尾久駅</p>		<p>東京都北区に所在する尾久車両センターでは所是「和と活力」に基づき、TRAIN SUITE 四季島や寝台列車などの特別な車両や、レール運搬車など目にする機会の少ない車両をメンテナンスしています。社員が敷地内で撮影した尾久駅と車両センターの日常風景をぜひお楽しみください。</p>
<p>・相模原運輸区</p>		<p>通勤通学でご利用いただく機会の多い横浜線ですが、沿線の川や山といった景色や色とりどりの花々で四季を感じることができます。横浜線の電車と四季折々の風景をカレンダーでお楽しみ頂き、合わせてご乗車のキッカケとしていただければ幸いです。</p>
<p>・熱海運輸区</p>		<p>昨年から今年にかけての特急・ライナーの車両置き換えをはじめ、輸送体系の変化や世代交代により、私たちの職場である東海道線を走る車両は変化を続けています。今では見られなくなってしまったものも含め、東海道線の歴史をこのカレンダーで感じていただければと思います。</p>
<p>・国府津車両センター</p>		<p>神奈川県西部に位置する国府津車両センターでは、東海道線や相模線・上野東京ラインなどを走る車両をグループ会社と一丸となり、毎日点検整備や清掃など行っています。普段はなかなか見ることが出来ない車両の一面や国府津車両センター内の風景をまとめました。</p>
<p>・東所沢電車区</p>		<p>中央線といえば思い浮かべる車両は、引退して10年以上経った今も201系という方も多いのではないのでしょうか？私も入社前から通学に、そして入社後は車掌として乗務していた思い出のある車両です。四季折々の中で駆け抜けた201系を皆さまの記憶とともにお傍に置いていただければ幸いです。</p>
<p>・三鷹車両センター</p>		<p>三鷹車両センターでは、首都圏を東西に結ぶ中央総武緩行線の運行車両をメンテナンスしています。また、東京メトロ東西線に直通するJR車両も担当しています。このカレンダーでは、普段は見かけることのない風景や車両の姿をいつでも眺めることができます。</p>
<p>・豊田車両センター</p>		<p>豊田車両センター内で撮影した写真だけでカレンダーを作成しました。主力車両であるE233系、209系はもちろん、中央線で活躍した懐かしい115系、189系、201系も登場。日常的な光景から社員でもなかなか見ることのない光景まで、是非お楽しみください。</p>
<p>・大宮総合車両センター</p>		<p>普段なかなか見る機会のない、大変貴重な大宮総合車両センターの日常の風景を社員が撮影し、数ある中からおすすめの写真を使用してカレンダーを作成しました。一年を通じてバリエーション豊かな車両など大宮総合車両センターの魅力を感じてください！</p>

<p>・籠原運輸区</p>		<p>高崎線や上越線など、上州路を駆け抜ける車両の四季折々の姿を集めました。首都圏のビル群を抜け、群馬の田園や桜並木をかすめる沿線風景を思い出していただけましたら幸いです。 みなさまの日常の1ページにいかがでしょうか。</p>
<p>・高崎運輸区</p>		<p>日々見慣れている景色の中に、その場所でしか見られない景色やその場所でしか体験できないことが隠れています。このカレンダーは、日常の中にあるそんな魅力を皆さまに伝えたいと思い作成しました。田園地帯や山間など、群馬を走る列車の躍動感、群馬の魅力を感じていただければ幸いです。</p>
<p>・高崎支社運輸部(運用車両課)</p>		<p>このカレンダーの購入をご検討されている方は少なからず鉄道に興味がある方だと思います。私もそのひとりですが、JR東日本の車両や沿線風景の魅力をお伝えたく、このカレンダーを製作致しました。 少しでも「旅に出たい」そんな思いになって頂ければ幸いです。</p>
<p>・高崎車両センター</p>		<p>高崎車両センターに所属している211系直流電車・485系交直流電車(やまどり編成・華編成)の留置中・検修作業中の風景や、車両センター構内の風景など、日常風景を集めました。</p>
<p>・高崎車両センター高崎支所</p>		<p>高崎車両センター高崎支所の魅力ある車両を存分に盛り込んだカレンダーに仕上げました。みなさまの愛が車両を走り続けさせる原動力になります。応援よろしくお祈いします！</p>
<p>・原ノ町運輸区 ・いわき運輸区</p>		<p>東日本大震災に見舞われた常磐線。昨年全線運転再開しましたが、沿線地域には未だ帰還困難区域を抱えるなど復興道半ばです。 今回、福島県沿線で撮影した写真を古今交えてカレンダーにしました。カレンダーを楽しむとともに、被災地域を応援してくださいと幸いです。</p>
<p>・勝田車両センター</p>		<p>勝田車両センター60周年を記念して、「西金工臨」に使用され引退が近い「ホキ800」だけに特化した前代未聞のカレンダーを製作しました！！JR東日本で現役最古の車両である864番を含む水カツ所属ホキ800の知られざる魅力と、今しか見られない光景をお楽しみください。</p>
<p>・習志野運輸区</p>		<p>今やJR東日本だけが唯一所有するED75交流電気機関車を東北沿線風景と絡めるために、数年間東北へ通い一枚一枚丁寧に撮影を行いました。このカレンダーで1年間四季折々の東北沿線風景を楽しんでいただけたら幸いです。</p>
<p>・横手運輸区</p>		<p>機関車ファンからも注目されているED75。このED75を保有しているのは秋田支社と仙台支社だけです。そんな貴重なED75をはじめとした秋田の機関車の働く姿にスポットを当て、お客さまを運ぶ以外にもこんなものも引っ張っている！という魅力たっぷりのカレンダーです。</p>
<p>・新潟運輸区 ・新潟車両センター</p>		<p>登場から数十年、整備も運転も手が掛かる、車両ごとにどこかクセがある、まるで頑固な職人のようだけど、誰よりも地域のために黙々と走る115系。新幹線や特急の陰に隠れ、のんびりマイペースな115系のささやかな魅力をお楽しみください。</p>
<p>・長野総合運輸区</p>		<p>長野総合運輸区の乗務線区である北信濃の大自然を主な舞台として、当区乗務員ならではの視点で撮影した四季折々のこだわりの写真を集めました。貴重なE7系の新幹線基地でのシーンやのどかな田園風景を走る列車、過去の貴重な列車の勇姿は必見です！</p>